



# 取り込むまでが難しい 南房のシマアジ盛況!!

「南房白間津の海正丸に取材に行ってください」と編集部から連絡があった。海正丸は古くからシマアジを看板にしている船宿で、私も何度かシマアジを釣らせてもらったことがある。シマアジはヒットすると猛

烈に引くが口周りが弱いので、大型になるほど釣り上げるのが難しい。実際に何度もハリス切れや口切れでバラした場面に遭遇している。それだけに大型のシマアジを釣り上げたときの喜びはひとしおで、そんな幸運なアン



▲南房のシマアジは、水温が下がりがり魚の動きが鈍くなる冬場が大型狙いのチャンス

▼親子でシマアジにチャレンジした小川正海くんが1キロ級をキャッチ



グラーたちの写真が待合所には所狭しと貼ってある。私も幸運のご相伴にあずからうと11月27日に釣行した。開始から快調な滑り出し海正丸は電話予約をした際に釣り座を決められるスタイルとなっているので、集合時間間に合うように行けばよいのもうれしい。当日は右舷に5名、左舷に6名で、私の席は右舷ミヨシ2番。

空が白み始めた6時に出船。ポイントまではわずか10分ほどで到着する。このフィールドは根が点在していて、その周囲には海藻が茂っており様ざまな魚が集まる好ポイントとなっているが、ドラグが緩いと根に潜られてハリス切れするので注意が必要だ。

と開始の合図が出された。コマセカゴは上の口を全開にして下の口をわずかに開け、指示ダナの下限から海面下5メートルまでを探る。2往復してコマセが出切る程度に調整するとよい。シャクリの強さやポーズの時間はその日によってヒットパターンが変わるので、色いろと試して判断しよう。さっそく右舷側の清原さんにヒット、25センチと小ぶりながら船中初物のシマアジを手にしてニッコリ。すると左舷側の親子で来ていた小川正海くんもシマアジを掛けるが、あまりにも強烈に突っ込むので竿はのされ完全に主導権をシマアジに奪われていた。

●すずき よしかず／この時期は正月用のタイとタコ釣りが恒例だが、近所に配り過ぎて残ったためしがない。

そこで父親がタックルを支援、正海くんはリールを巻くことに専念。ハラハラするフアイトの末に1キロのシマアジを見事釣り上げた。「右舷でも釣れているよ」との船長の言葉に右舷へ回ると、右舷トモ2番の又井さんが30センチのシマアジを釣り上げ、「これからサイズアップを狙いますよ」と言ったとおり、すぐに35センチを釣り上げた。そんな中、快調にシマアジを釣り続けていたのは右舷トモの千田さんだ。開始から立て続けに25〜30センチのシマアジを3尾釣ったところで大

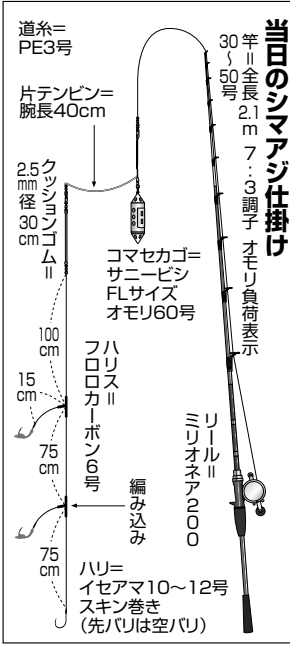
きくタックルを曲げる。慣れた手つきでグイグイと巻き上げて1キロジャストのシマアジを難なく釣り上げた。「1キロオーバーのシマアジが釣りたい」と言っていた左舷トモの岩瀬さんにもうれしい魚信が到来し、釣り上げたシマアジは1キロには若干足りない800グラム。ミヨシに目を向けると左舷ミヨシ2番の上村さんがフアイト中。上がってきたシマア

●Tackle Guide

船宿仕掛けはハリス6号で先バリのみ空バリ、残り2本をウイリーとした仕掛け(写真左)。大型対応のハリス8号の仕掛けや食い渋り対策の空バリ仕掛け(写真右)も用意できればなおよい。



▲船宿特製仕掛けは船でも販売(写真左)



▼大小小じりていい日は2ヶタ釣果も見られる



1.6キロのシマアジが上がる。タナは海面から15メートルより上と指示があり、開始直後に正海くんのお父さんが魚

信をとらえる。突っ込みを上手にいなす常連さんらしいヤトリは見ている私にも気持ちがいいもので、息子さんと同サイズの1.1キロを取り込む。しかしシマアジのラブコールはここまで。以降は沈黙が続く。残り時間も1時間20分を切ったところで、私も竿を出すことにした。写真撮影で席を離れることもあることから本来のシマアジ釣りのスタイルではなく、自作の空バリ3本仕掛けにオキアミエサを付けて置き竿釣法でチャレンジする。時折クックと穂先が揺すぶられて30センチほどのイサキが顔を出す。シマアジはだれにも食ってこない。残り時間も30分となったと

ここで再び朝のポイントに戻った。ポイントを移動後すぐに左舷トモの岩瀬さんが900グラムを取り込むと、千田さんが本日最大の1.6キロを釣り上げフイナールを飾った。「時間ですので上げてくださ」と酒井船長の言葉を聞き、ふと自分のタックルを見るとガタガタと揺さぶられている。慌てて合わせを入れたが痛恨のストロボ抜け。朝方に船長に言われた向こう合わせが基本という言葉が頭の中を駆けめぐった。釣果は1キロオーバー6尾を含む9尾を釣った千田さんがトップだった。大型のバラシもあったことから今後も期待できるだろう。

●船宿information

南房白間津港  
**海正丸**  
☎0470-43-1382  
(詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=シマアジ乗合一人1万1000円(コマセ、水付き)  
▶備考=予約乗合、5時集合。ほかオニカサコ&アラも出船

酒井 裕也船長

知得! Tips and Tricks

竿頭・千田さんの釣り方

タックルはスピニングリールとジギングロッドの組み合わせで、操作性がいいことから海正丸の多くの常連さんも使用している。ピシは60号のステン街で、コマセが出過ぎないように穴を2個塞いでいた。活性の高い朝はウイリー仕掛けで狙い1秒前後で短くリズムカルにシャクっていく。食いが落ちてきたら空バリにオキアミを付けてポーズは3〜5秒とゆったりと誘うような釣り方。状況に応じた狙い方で好釣果につなげていた。

▶スピニングリールは上ク性能に優れたハイグレードモデルがおすす